



平成 27 年 8 月 6 日

各 位

株式会社 エスケーアイ  
代表取締役社長 酒井 昌也  
(JASDAQ:コード番号 9446)  
問合せ先 常務取締役管理本部長  
兼経理部長 田川正彦  
電話番号052(262)4499

### 平成 27 年 9 月期通期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 9 月期 (平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日) の業績予想について、平成 26 年 11 月 13 日付当社「平成 27 年 9 月期決算短信」にて公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 9 月期 連結業績予想の修正等

##### (1) 通期 (平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	16,413	556	563	235	21.65円
今回修正 (B)	16,500	725	738	403	37.12円
増減額 (B-A)	87	169	175	168	15.47円
増減率	0.5%	30.4%	31.1%	71.5%	71.5%
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 9 月期)	16,258	539	556	363	33.47円

##### (2) 修正理由

通期につきましては、平成 26 年 11 月 13 日付で、売上高 164 億 13 百万円、営業利益 5 億 56 百万円、経常利益 5 億 63 百万円、当期純利益 2 億 35 百万円の業績予想を公表いたしましたが、移動体通信機器の販売台数は前期並に留まったものの、顧客満足度の向上を図った結果、各店舗の総合力と収益性が向上し、各種受取手数料の増加に繋がったため、各利益計画を大幅に上回ることが確実な状況となりました。

また、子会社である株式会社セントラルパートナーズについては、保険契約者の継続率が改善し、安定収入の確保に繋がっており、業績は着実に計画をクリアできる状況となっている他、子会社であるエスケーアイマネジメント株式会社についても、各葬儀会館における将来を見据えた積極的な営業活動が奏功し、各利益計画を上回ることが確実な状況となりました。

したがいまして、通期につきましては、売上高 165 億円（前回予想比 87 百万円増）、営業利益 7 億 25 百万円（前回予想比 1 億 69 百万円増）、経常利益 7 億 38 百万円（前回予想比 1 億 75 百万円増）、当期純利益 4 億 3 百万円（前回予想比 1 億 68 百万円増）となる見込みであります。

## 2. 平成 27 年 9 月期 個別業績予想の修正等

### (1) 通期（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	1 4, 2 8 8	3 3 8	1 4 8	1 3. 6 3 円
今回修正 (B)	1 4, 5 3 5	4 7 0	2 8 5	2 6. 2 5 円
増減額 (B - A)	2 4 7	1 3 2	1 3 7	1 2. 6 2 円
増減率	1. 7 %	3 9. 1 %	9 2. 6 %	9 2. 6 %
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 9 月期)	1 4, 4 0 5	4 0 1	1 8 0	1 6. 5 9 円

### (2) 修正理由

通期につきましては、平成 26 年 11 月 13 日付で、売上高 142 億 88 百万円、経常利益 3 億 38 百万円、当期純利益 1 億 48 百万円の業績予想を公表いたしましたが、第 4 四半期において、新事業（太陽光発電事業）に対する先行投資は見込まれるものの、移動体通信機器販売関連事業では、各店舗での顧客満足度の向上と総合力アップによる取扱事務量の増加から、各種受取手数料の増収に繋がっており、第 4 四半期も計画通り進捗することが予測されるため、各利益計画の上方修正が必要な状況となりました。

したがいまして、通期につきましては、売上高 145 億 35 百万円（前回予想比 2 億 47 百万円増）、経常利益 4 億 70 百万円（前回予想比 1 億 32 百万円増）、当期純利益 2 億 85 百万円（前回予想比 1 億 37 百万円増）となる見込みであります。

以 上